



## 著者プロフィール

小川軽舟(おがわ・けいしゅう)

昭和36年 2月7日、千葉市生まれ  
昭和59年 東京大学法学部卒業  
昭和61年 「鷹」入会、藤田湘子に師事  
平成11年 「鷹」編集長  
平成17年 藤田湘子逝去により「鷹」主宰を継承

句集『近所』(第25回俳人協会新人賞)、『手帖』『呼鈴』、『俳句日記2014 掌をかざす』。

著書『魅了する詩型 現代俳句私論』(第19回俳人協会評論新人賞)、『現代俳句の海図』、『シリーズ自句自解 I ベスト100 小川軽舟』、『藤田湘子の百句』、『ここが知りたい! 俳句入門 上達のための18か条』、『俳句と暮らす』

俳人協会評議員、毎日新聞俳壇選者  
〈句集『朝晩』より転載〉(2019年7月7日時点)

## 『朝晩』

(自選15句)

小川  
軽舟

妻来たる一泊二日石路の花  
海底の真つ暗闇も年歩む  
雪降るや雪降る前のこと古し  
冬尽きて空に無数の擦過傷  
葬送の鉞や太鼓や山笑ふ  
夕空は宇宙の麓春祭  
レタス買へば毎朝レタスわが四月  
飯蛸やわが老い先に子の未来  
松蟬の声古釘を抜くごとし  
月涼し配管老いし雑居ビル  
めらめらと氷にそそぐ梅酒かな  
ひぐらしや木の家に死に石の墓  
駅前夜風に葡萄買ひにけり  
月光や青の時代は頬痩せて  
いつか欲し書齋に芙蓉見ゆる家